



上越市議会議員

宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

- ◆6月議会のポイント ～燃料、資材高騰対策～
- ◆宮崎朋子の一般質問 ～農業／観光／防災の取組みを問う～
- ◆議会新体制へ ～宮崎朋子、新たな意気込み～
- ◆地域の情報 ～安心安全を守る人々 他～
- ◆議員活動奮闘記 ～ご挨拶の機会に感謝～

Vol,9

発行月 2022年7月

所属

- 会派 創風
- 総務常任委員会
- 災害対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 防災士議員連盟
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

大事な市政をしっかりと
チェックします！

市内の災害、
減災対策に
奔走します！

市民のために
変わる、進む
市議会運営に
つとめます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「葵色」
平安時代からの伝統色。この花のように
まっすぐに凛として。

議員の仕事・議会のあれこれ
「B面ともこ」配信中！

パソコン、携帯、スマホ
からは是非ご覧ください。



YouTube B面ともこ

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～ご挨拶の機会に感謝～

ようやく、地元や市内の団体等で「ご挨拶」の機会が増えました。今までの仕事もそうでしたが、お声をかけていただいた皆様が、どのような活動に取り組んでおられるかということを念頭において登壇するよう、心がけています。

が、いつも「伝わったかな？」と一人反省会の私。最近は、先輩政治家の演説や、役者の立ち居振る舞いを見て研究中…。これからも伝える力、磨いてまいります！



活動記録 (4/11～7/17)

- 市内行事参加（名家めぐり／海岸清掃／鳥獣対策電気柵設置作業／公民館事業他）
- 市内団体会議参加（商工会／振興会／社会福祉協議会／鉄道OB会／港湾協会／老人連合会／防災士会／三和方面隊／上越地域消防局 他）
- 市民要望調査研究（河川・道路 観光、地域医療、農業、中小企業振興等11件）
- 議員連盟研修参加（保倉川放水路議連）
- 個人研修（防災女子オンラインセミナー／コワーキングスペース視察／子宮頸がんワクチンの重要性等）
- 調査研究（観光政策／道路・河川／市内事業所景況調査／中小企業憲章／寺町のまちづくり／米粉の可能性／外国人生活支援・自主防災組織の取り組み 等）
- 議会通信発行（4月）
- 上越地域消防事務組合議会臨時会
- 議員勉強会（雪冷熱エネルギー利用の可能性）
- 上越市教育委員会合同問題現地研修会
- 議会運営委員会（2回）
- 会派視察研修（糸魚川市）
- 災害対策特別委員会
- 地域協議会傍聴（三和区／直江津区／板倉区／浦川原区／中郷区）
- 本会議（6月7日～6月22日）臨時会（5月20日）
- 総務常任委員会と課題調整会議（6月13日）
- 一般質問（6月15日）
- 上越市議会議会報告会（三和区）
- 個人議会報告会（2カ所）

他



あまりのゴミの多さに驚いた海岸清掃。官民上げての抜本的対策が必要です。



鳥獣対策電気柵張りに参加。地域の苦勞がわかります。

● 9月議会の予定
9月1日（木）～9月27日（火）
議会傍聴に是非お越しください！

地域の情報

◆地域を見守る、安心安全を守る人々～消防の活動～

上越管内の火災件数は令和2年の44件に対し、令和3年は58件と増加。6月は、地元三和区と市の消防点検に立ち合わせていただきました。この14方面隊52分団の3552名の皆様がいってこそその安心安全だとつくづく感じました。



市議会の制服を着て敬礼！

上越市では、10年後の持続可能な消防部活動を目指し再編中。これについては地域で不安が生じないように丁寧に進めてほしいと考えます。上越地域消防局では、近年激甚化する災害などに備え、より高性能な車両や最新の指令システムで現場対応に取り組んでいます。また火災の原因を調査し、メーカーへフィードバックする専門家も配置。局内には、体験型訓練施設もあり、市民の防災意識の啓発にも取り組んでいます。

（数字は令和4年4月現在）

◆待ち望む！県道新井柿崎線の防雪柵

夏場は快適な道路も、冬は吹き溜まりやホワイトアウトが心配。我々議員連盟も長年設置要望を続け、これまで柿崎から吉川区へと順次設置されてきた防雪柵。現在、くびき駅付近（頸城区）で吹き止め柵設置工事が進んでいます。さらなる設置延伸に向けて、今後も声を上げてまいります！



駅利用もあり、交通量も多い。今年の冬は—安心！—

■6月補正予算（一般会計補正予算） 404,840,000円

* 3億722万円→新型コロナウイルスワクチン接種に関する経費を増額。

■追加補正予算（一般会計補正予算） 1,007,843,000円

- * 4億858万円→所得の少ない子育て世帯へ、国の支援に5万円を上乗せして支給。令和4年度の住民税が均等割のみ課税となる世帯へ、1世帯あたり、5万円の臨時特別給付金を支給。
- * 1億1,202万円→水田農業推進事業（燃料及び肥料の価格上昇分に係る費用の一部を助成。経営所得安定対策等の加入者約1200経営体が対象。営農面積10アール当たり1,000円を交付）
- * 4億8,546万円→事業者経営支援金に物価高騰影響枠を創設。収益の減少の度合いに応じて最大100万円の支援金を支給。

■令和4年度税制改正に伴う地方税法等の一部改正を受けて

- * 個人市民税の住宅借入金等特別控除の適用期限を延長。
- * 固定資産税及び都市計画税の商業地等に係る負担調整措置を延長。

ほか

(詳しくは上越市HP/広報上越/かけはしをご覧ください)

～上越市第7次総合計画ってなあに？～

向こう8年の上越市の方向性を示した最上位計画が、この総合計画です。私たちの家で例えると大黒柱。市の説明によると、審議会設置以降のスケジュールは、9月に市長へ中間答申、10月には市民説明会などを経て12月議会へ提案する予定とのこと。市議会としても、あらゆる世代の意見が反映されるよう尽力してまいります！ - みなさまのご意見を是非お寄せください -

2040年、上越市の未来予測

人口は15万人台へ。高齢化率は39%、15歳未満は10,6%の見込み。

宮崎朋子の一般質問
農業／観光／防災の
市の考え、取り組み
を問う（抜粋）

農業

燃料、資材高騰で農業への支援は？

答：速やかに国の補助金を活用し支援した。（上記参照）米価下落の影響も鑑み、農家の不安軽減と収益性の高い産業へと発展させていくために、新規就農者支援やスマート農業、環境保全型農業の拡大に、より一層つとめていく。

観光

寺町の景観改修、どう考えていますか？

答：先進的な観光地は景観が素晴らしい。看板や住宅の色、電柱の地中化も含め、昔のような景観にしていくことは最低限のおもてなしと考える。改修には時間がかかることは承知している。住民の皆さんと一緒に考え、丁寧に取り組んでいきたい。

経年変化した看板改修も必要。
(市営駐車場)

防災

市民への住宅用火災警報器の切り替え周知は？

答：令和4年6月現在の市内設置率は87,8%。10年経過したものは劣化により、的確に作動しなくなる恐れがあり、市では上越地域消防局と連携し連動型火災警報器への切り替え等を広報している。今後も市民の皆様の自発的な点検、確認、交換をお願いしたい。

議会の動画はこちらでご覧いただけます。→joetsucity.stream.jfit.co.jp

議会新体制へ

宮崎朋子、新たな意気込み



2年に1度の議会の新体制。

私はこれまで「農業建設常任委員会」にて鳥獣被害対策や農業支援の拡充を、「新型コロナウイルス調査対策特別委員会」では刻々と変化する感染状況の中、市内の事業者支援に奔走しました。また「広報公聴委員会」では、誰もが理解できる広報誌の編集等につとめました。

そのどれもが今の私の糧となっています。

後半の2年間、上越市の方向性が示される時期にあたり、その見極めと市民の安心安全が重要と考え、新たな分野に挑戦します。これからも、聞いて、気付いて、行動する、宮崎朋子にご期待ください！

宮崎朋子の所属

どんなことするの？

総務常任委員会

市政の運営方針や財務、防災、自治、まちづくり、総合事務所に関わる議案を審査します。市の方向性を決める「第7次総合計画」や「地域自治推進プロジェクト」についても議論してまいります。



災害対策特別委員会

この度、私は委員長をつとめます。近年の激甚災害、大雪、原子力災害等に対する市の防災、減災対策に対し、議会として市民の安心安全のために提言を行なってまいります。

議会運営委員会

市議会運営に関わる意見集約と、議会を前へ進める役割。定例会の日程や議会の会議規則、委員会に関する条例などを協議します。



◆まちなかの防火体制◆
家を濡らし、延焼を防ぐことが目的。子供や女性も扱いやすい設備や、こども消防団など防災意識の高さを感じました。



◆まちなかシェアキッチン◆
キターレ内では、飲食業など、チャレンジする人を応援！



◆糸魚川市中心市街地整備◆
大火後、市民と年月をかけて作ったまち。世帯数は減ったけれど、若い人たちも来ています。



◆フォッサマグナパーク◆
日本の東西の分岐点が見られます。世界ジオパークに認定され、唯一無二の観光拠点に。

この2年間コロナ禍で、どの自治体も視察受け入れには慎重でした。今後も感染状況を鑑みながら、現地での見聞が市政へ反映できるよう、研鑽を積んでまいります。

ようやく動き出した！視察研修

会派「創風」にて、視察研修を行いました。7/4（月）糸魚川市へ
研修テーマ ①広域観光の課題と連携 ②大火後のまちづくり ③市民協働の防災減災対策